

能登半島地震支援第1隊

一般社団法人こども女性ネット東海

執行理事藤岡喜美子

メンバー：藤岡、鈴木、後藤、磯貝

訪問地域：石川県七尾市、富山県氷見市

訪問期間：1月10日（水）～1月12日（金）

訪問場所：石川県七尾市

矢田郷地区コミュニティセンター

御祓地区コミュニティセンター（禊コミュニティセンター）

天神山小学校

能登島地区コミュニティセンター

富山県氷見市

氷見市役所

氷見市災害ボランティアセンター

久米交流館（旧久米小学校）

1. 目的

災害時声をあげにくい、妊婦・乳幼児、こども、女性が安全だけでなく安心な避難生活ができるように避難所に必要な物資を届け、避難所運営のサポートをする。

2. 活動内容

- ・被災者からの声を聴き、必要なときに必要な物資を届ける
- ・看護師、保健師、助産師、保育士などを派遣し避難所運営をこども女性目線でサポートする
- ・女性向けのバラセット、フジセットを被災者ひとり一人に配布しながら、被災者のお話を聞き相談にのる。

3. 工程

1月10日（水）

矢田郷地区コミュニティセンター、御祓地区コミュニティセンター

1月11日（木）

矢田郷地区コミュニティセンター

天神山小学校、御祓地区コミュニティセンター、能登島コミュニティセンター

1月12日（金）

訪問：氷見市役所、氷見市災害ボランティアセンター、久米交流館

4. 避難所の様子

① 矢田郷コミュニティセンター

地震発災後1時間30分後に開設

施設の一部が市の指定避難所になっていたがそこはすぐには使用できなかった。

開設者：施設管理者（矢田郷地区まちづくり協議会会長）

運営：矢田郷地区まちづくり協議会職員 複数名 七尾市職員

地元ボランティア

避難者数：約 300 名（高齢者多数、乳児がみえる家族 5 家族、こどもの数 約 10 名）

ライフライン：電気○ ガス○ 水✕

民間ボランティアを早期受け入れ開始していた。

民間から直接物資の受け入れしている（カテゴリーごとに仕分け）

食事：炊き出しにて配布（水 5 0 0 m l ボトル配布場所 24 時間設置）

トイレ：仮設トイレ（水洗 3 種類）和式 10 基、洋式 7 基 いずれもバケツによる注水要

設置場所：玄関前 建物の街灯あり 和式移動式トイレのみ男女別

衛生：玄関入口にWOT A（循環式ろ過システム手洗い）1/10～設置（Softbank 提供）

手指消毒アルコール

トイレ横 手指消毒用アルコール + 除菌シート

シャワー（循環式ろ過器 シャワー 3 基）（Softbank 提供）

今後の手洗い、シャワーの設置期間は不明

給水車からの水：トイレ横の複数のタンクにて管理

携帯充電場所：入口横に設置あり

防犯：入口にて体温測定器 カメラあり（録画中）と掲示

夜間 警備会社がトイレ前に常駐

日中 警察による防犯のパンフレット配布あり

夜間の見守りの有無は未確認

生活の場 部屋割り

1 階広間：高齢者（段ボールベット搬入開始）

2 階広間：主に家族世帯

2 階和室：乳幼児のいる家族（5 組 夫も一緒に就寝）

廊下や、休憩スペースの椅子にて横になる方もあった。

着替え：1 階広間奥パーテーションあるも透けあり、段ボール使用へ変更、

男女共用（変更予定）愛知県看護協会からの災害支援ナースにて環境改善対応中

② 御禊地区コミュニティセンター

開設者：まちづくり協議会

運営：まちづくり協議会職員

避難者数：166 名（1/10）内訳 高齢者が主 男 66 女 1 0 0

ライフライン：上記に同じ

物資：玄関わきに羅列、除菌シート、おむつ、尿取りパットあり

（避難者は、高齢ではあるものの、トイレに行ける方であると）

食事：炊き出しボランティアの受け入れあり（大阪からのキッチンカー）

食器にラップをかけ使用中（市役所へ紙皿等要請済み）→ラップを提供

トイレ：バケツで水を流す形で利用中（袋、吸収ポリマーの使用は、高齢者には困難と）
市より仮設トイレ2基追加予定

清潔：支援物資のドライシャンプーを配布したが、使い方が理解できず、高齢者には困難と
→大人用体拭きシートを提供
玄関前に貯水タンクあり

生活の場：ホールを利用 簡易マットあり、ベットなし、通路の確保はあるも手狭
2階は、中年層の婦人が利用中

③ 天神山小学校

運営：和田内和美市議会議員、学校長、職員、行政職員1名

避難者数：46名（ネパール人実習生 女性10数名含む）女性がほとんど

ライフライン：上記に同じ

物資：職員室前に羅列

食事：炊き出しの配達あり

トイレ：バケツで水を流している

清潔：入浴できない状況→体拭きシートを提供

生活の場：拝見できず

④ 能登島コミュニティセンター

運営：指定管理者、センター職員

避難者数：約40名

ライフライン：上記に同じ

物資：エントランスホールに仕分けし、地域の方がとりに来やすいよう分別

食事：地域の料理職人さんによる弁当を買い取る形で提供

1/5よりコンロ、トースター、レンジの利用開始（自立の促しを開始）

トイレ：雨水をバケツで流す

手洗いは、期限切れの保存水を利用

清潔：入浴チケットの配布スタート

生活の場：複数和室（一般利用者）乳児連れ一組（別室準備）女性用体調不良者（別室あり）

⑤ 能登島生涯学習センター

谷内さん（金沢市民活動センターセンター長）からの情報

開設はガラスを割り入室

トイレ利用不可と、アナウンスをつづけるも、汚物があふれる状況となり

谷内さんが清掃実施、トイレセットの利用方法周知のため、動画を作成した。

5. 活動内容

- ・トイレ掃除
- ・手洗い、消毒啓発

- ・バラセット、フジセットをくばりながら話相手
- ・夜間の発熱者の対応
- ・乳幼児室の家庭の傾聴

【支援物資配布】

支援先	訪問日	避難者数	支援物資
矢田郷地区 コミュニティセンター	1/10 1/11	約 300 名	掃除機 2 台 コロコロクリーナー 10 (スペア 10) こども用おむつ 尿取りパッド 女性用ポーチばら 5 ふじ 1 (次回訪問時に全員配布予定) ワセリン小分け 4 5
御祓地区禊 コミュニティセンター	1/10 1/11	約 160 名	コロコロクリーナー 4 (スペア複数個) フローリングワイパー 女性用ポーチふじ、ばら、 サランラップ 12 本 大人用体拭き 60 枚入り 4 パック 除菌ウェットシート 4 セット マウスウォッシュ小分けタイプ 50 個 使い捨て布巾 6 ロール レッグウォーマー 18 足 ネックウォーマー 30
天神山小学校	1/11	約 50 名	コロコロクリーナー 4 (スペア 4 セット) フローリングワイパー 3 使い捨て布巾 4 ロール 粉末ポカリスエット 2 おかし 4 袋 尿取りパット 2 パック
能登島 コミュニティセンター	1/11	約 40 名	コロコロクリーナー 4 (スペア 6) フローリングワイパー 4 女性用ポーチふじ 10 ばら 1 ちびっこ歯磨きセット 6 携帯トイレ (ベンリー袋 20 回セット × 5 袋) × 10 箱

			ワセリン小分け5個 サランラップ12本 粉末ポカリスエット8箱 不織布布巾10ロール 掃除セット1
能登島クリニック	1/11		アイソレーションガウン50
氷見市	1/12		カセットコンロ1台 カセットコンロボンベ9本